

Q 前橋市の令和元年度決算を家計簿にしてみると、どうなりますか？

A 市税などを年収500万円とした場合、次のようになります。

収 入					
令和元年度一般会計決算(年額)		家計にたとえた場合(年額)		割合	
自主財源	市税など	693億 960万円	年収	500万円	48.8%
	基金取崩	29億5,619万円	預金引き出し	21万円	2.1%
依存財源	国・県支出金、交付税など	564億6,292万円	親からの援助	407万円	39.7%
	市債	134億 220万円	ローン借入れ	97万円	9.4%
合 計		1,421億3,091万円	合 計	1,025万円	

支 出					
令和元年度一般会計決算(年額)		家計にたとえた場合(年額)		割合	
義務的経費	人件費	205億8,966万円	食費、通信・交通費など	149万円	14.8%
	扶助費	329億9,061万円	医療費・保険料など	238万円	23.7%
	公債費	149億2,636万円	ローン返済	108万円	10.7%
物件費		189億 124万円	光熱費、被服費など	135万円	13.6%
投資的経費・維持補修費		226億 163万円	自宅修繕・車購入など	163万円	16.3%
補助費等		113億2,454万円	クラブ活動費など	82万円	8.1%
繰出金		123億 858万円	子どもへの仕送り	89万円	8.9%
積立金・投資及び出資金・貸付金		54億8,196万円	貯金	40万円	3.9%
合 計		1,391億2,457万円	合 計	1,004万円	

繰越金					
令和元年度一般会計決算(年額)		家計にたとえた場合(年額)		割合	
繰越明許費及び事故繰越し繰越額		9億1,254万円	カード引去確定額	6万円	30.4%
財政調整基金等積立		11億円	貯金	8万円	36.5%
令和元年度予算繰越		9億9,380万円	財布残金	7万円	33.1%
合 計		30億 634万円	合 計	21万円	

○ 収入では、自主財源である「年収・預金引き出し」が50.9%に対し、国・県支出金等である「親からの援助」が39.7%も占めています。これは、国の仕事を市が代わって行っているものなどがあるからです。このため、現在、国と地方の収入割合の見直しが進められています。

○ 支出では、全体とすると平成30年度より拡大し、投資的経費・維持補修費である「自宅修繕・車購入など」が増加しました。

○ 繰越金については、借金返済や経済状況の変化に備えて、36.5%を貯金しました。

※この家計簿は、令和元年度一般会計決算をベースに、市税などの自主財源(693億960万円)を年収500万円として、これを基準に各費目を一般家庭の項目に置き換えたものです。

※数字は、集計の都合上、端数整理をしています。